

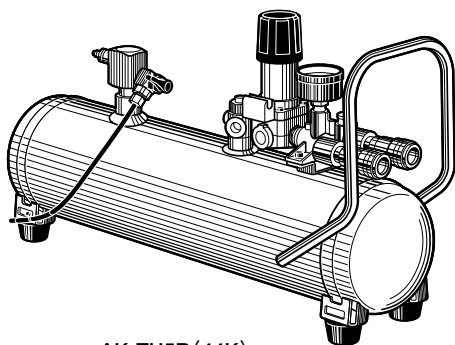
マックス スーパーエア・タンク

AK-TH5R(44K)

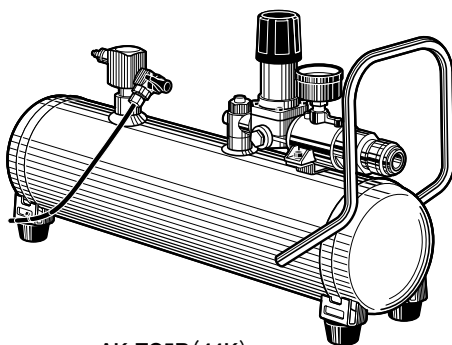
AK-TC5R(44K)

取扱説明書

プロ用



AK-TH5R(44K)



AK-TC5R(44K)

警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本機はマックススーパーエア・コンプレッサ (AK-HL1230Eシリーズ、AK-HL1210E (Ⅱ)シリーズ) 専用エアタンクです。指定以外の用途、使用方法では絶対に使用しない。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物 (ガソリン、シンナー等) のある場所では絶対に作動させない。
- 高温や直射日光が当たる場所では絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホースを接続する前に必ず専用ホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ずドレンコックをゆるめ、エアタンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- 改造及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス スーパーエア・タンクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について



この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について



この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

●現品の確認

●エアタンクが到着しましたら次の確認を行ってください。

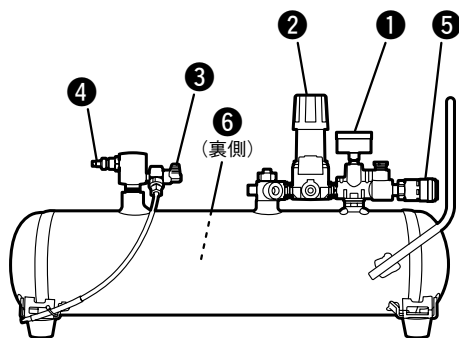
- ①ご注文の商品かどうか。
- ②輸送による破損や部品の紛失がないかどうか。

※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご相談ください。

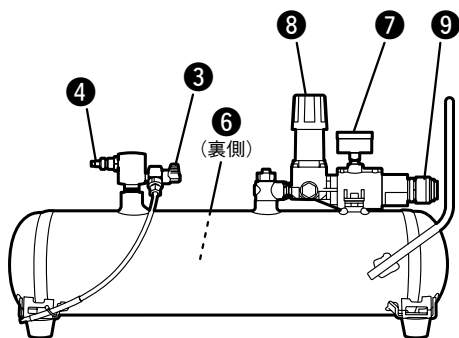
目 次

1. 各部の名称と接続システム参考例	1
2. ⚠安全作業のために	3
3. 仕様及び付属品	9
4. エアコンプレッサとの接続方法	10
5. 使用方法	15
6. 性能を維持するために	17
7. 保証、アフターサービスについて	18
全国販売拠点、サービス拠点一覧	

1 各部の名称と接続システム参考例



AK-TH5R(44K)



AK-TC5R(44K)

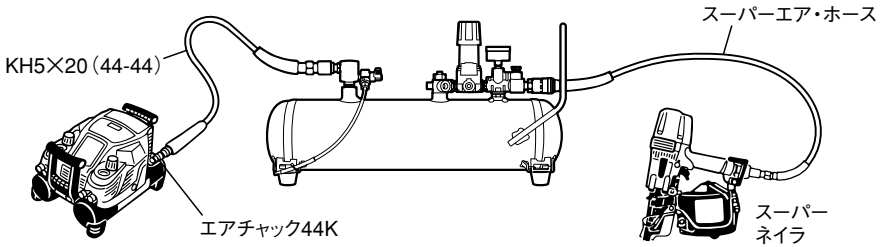
主要部品機能説明

- ①減圧弁取出圧力計 スーパーネイラ（使用空気圧力2.45MPa以下）の設定圧力値を表示します。
- ②減圧弁調整ハンドル(H) スーパーネイラ専用です。スーパーネイラ（使用空気圧力2.45MPa以下）の使用圧力に調整します。
- ③ドレンコック 一日一回以上、作業終了後に圧縮空気とドレン（水など）を抜きます。
- ④エアプラグ44K 専用エア取入口になります。
- ⑤専用エアチャック(2個)
(スーパーネイラ専用)
エア取り出し口 スーパーネイラ専用エアホースを接続します。
- ⑥警告表示 使用上の警告事項を記載してあります。使用時は必ず読んでください。
- ⑦兼用減圧弁取出圧力計 スーパーネイラ専用エアホース接続時：2.45MPa以下、一般釘打機・エア工具用エアホース接続時：0.83MPa以下の設定圧力値を表示します。
- ⑧兼用減圧弁調整ハンドル
(オレンジキャップ) スーパーネイラ専用エアホース接続時、スーパーネイラ（使用空気圧力2.45MPa以下）の使用圧力に調整します。一般釘打機・エア工具用エアホース接続時、一般釘打機・エア工具（使用空気圧力0.83MPa以下）の使用圧力に調整します。
- ⑨兼用エアチャック(1個)
(スーパーネイラ、一般釘打機・
エア工具用エア取り出し口) スーパーネイラ専用エアホース、一般釘打機・エア工具用エアホースを接続することができます。

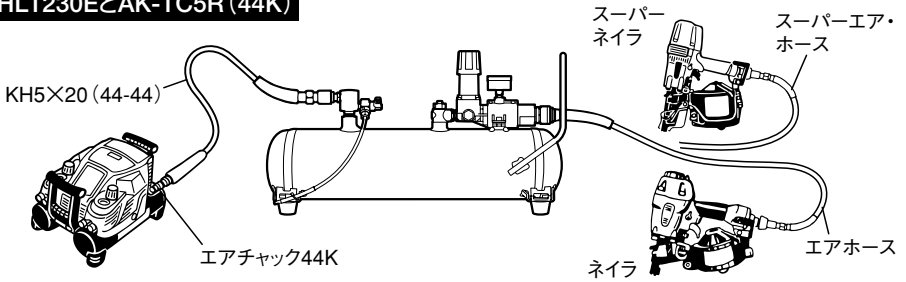
※接続するエアホースにより、圧力帯を自動切替し、スーパーネイラと一般釘打機・エア工具を利用できます。

接続システム参考例

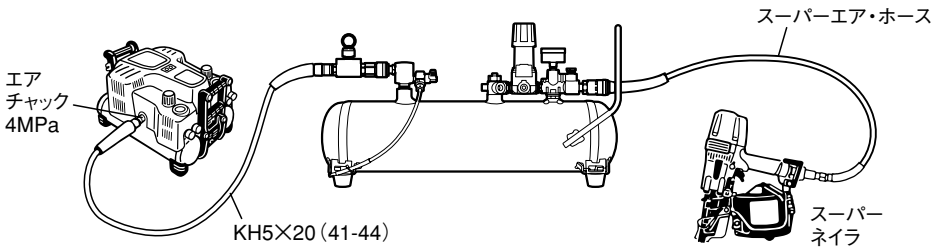
AK-HL1230EとAK-TH5R (44K)



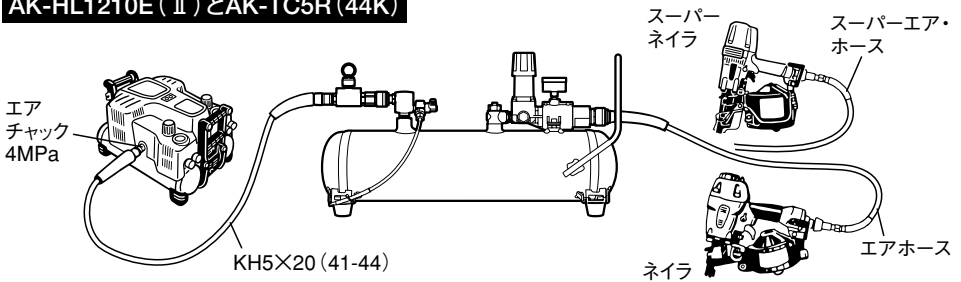
AK-HL1230EとAK-TC5R (44K)



AK-HL1210E (Ⅱ)とAK-TH5R (44K)



AK-HL1210E (Ⅱ)とAK-TC5R (44K)



※スーパーエアコンプレッサの機種（タンク内最高圧力の違い）によって連結用ホースが異なります。

2 ▲ 安全作業のために

本機はマックススーパーエア・コンプレッサ（AK-HL1230Eシリーズ、AK-HL1210E（Ⅱ）シリーズ）のタンク容量を補助することを目的とした専用エアタンクです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

※文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称と接続システム参考例」にて確認してください。

作業前

警告

① 作業環境に応じた防具等を必ず着用する。

作業環境に応じて保護メガネ・防音保護具・保安帽・安全靴等の防具を着用してください。

①

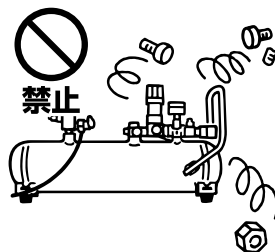


② 使用前に必ず点検する。

エアタンク内に圧縮空気を充填する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり傷んでいないか。

②-1, 2



不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)へ点検・修理に出してください。

▲ 警告

③ 本機の設置場所に関する注意

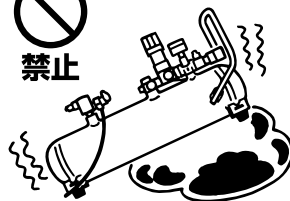
1. 硬く水平な場所に必ず設置する。

移動や落下の危険性のある不安定な場所には絶対に設置しないでください。

③-1



禁止

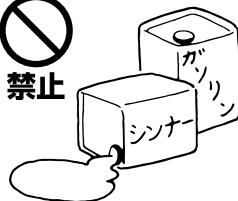


2. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナー等）のある場所には絶対に設置しない。

③-2



禁止

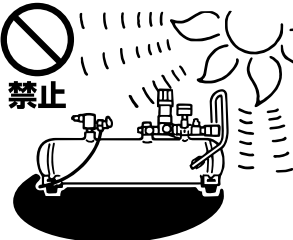


3. 高温や直射日光が当たる場所は避け、風通しのよい日陰などに設置する。

③-3



禁止

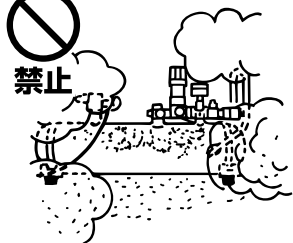


4. ゴミ（木くずなど）・ホコリの多い場所には設置しない。

③-4



禁止



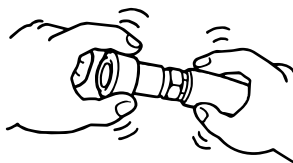
5. 適正な設置方向に必ず設置する。

1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

- ④ 本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースと
ホース金具が完全に固定されていることを確認す
る。



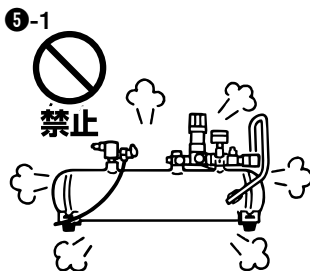
- ⑤ 本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認す
る。正常に作動しない場合は使用しない。

15ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検
してください。

- ※下記の場合には故障していますから本機を絶対に使
用しないでください。

1. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
2. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧
力が変化（上昇・降下）しない。

異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックス
サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してく
ださい。



- ⑥ 大切に扱う。

落としたり、ぶついたりすると故障の原因となりま
す。落としたり、ぶついたりした場合は、外観上異
常がなくても、お買い求めの販売店又は、マックス
サービスファクトリー(株)へ点検・修理に出してく
ださい。



作業中

警告

①揮発性可燃物のある場所では絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでは、引火または爆発の恐れがあるので絶対に使用しないでください。

①②

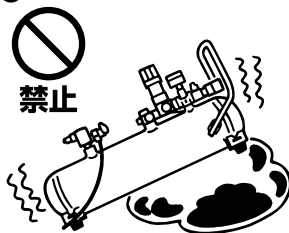


②火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。

③不安定な場所では絶対に使用しない。

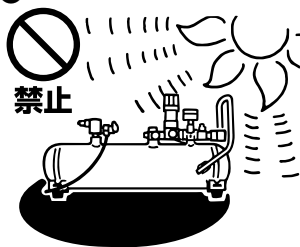
移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。

③



④高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。

④



⑤ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には設置しない。

⑤



⑥適正な設置方向に必ず設置する。

1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

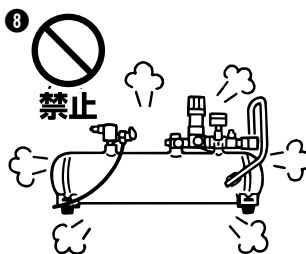
⑦ 上面部に座ったり物をのせることは絶対にしない。

本機の故障や破損を招くおそれがありますので、上面部に座ったり、物をのせないでください。



⑧ 異常を感じたら絶対に使用しない。

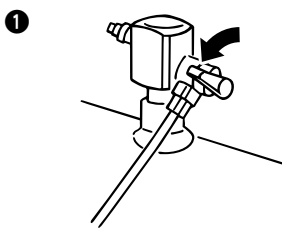
機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに使用をやめ、点検・修理に出してください。



作業後

▲ 警告

① 作業終了時には、必ずドレンコックをゆるめエアタンク内のドレン（水など）と圧縮空気を排出する。



② 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態を保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。



▲ 警告

③ 本機を分解しない。

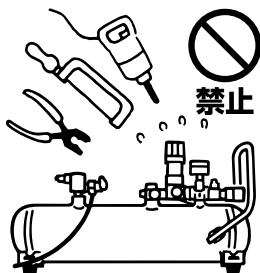
万一故障した時は、点検・修理に出してください。

③

④ 本機に改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。

本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので絶対に行わないでください。

④



3 仕様及び付属品

項 目	商 品 仕 様	
商 品 名	マックス スーパーエア・タンク	
商 品 記 号	AK-TH5R (44K)	AK-TC5R (44K)
寸 法	(L) 509 × (W) 141 × (H) 282 mm	
質 量	3.0kg	
エアタンク容量	5 ℓ	
減 圧 弁 の 圧 力 調 整 範 囲	0.1~2.45MPa	スーパーネイラ接続時： 0.1~2.45MPa 一般釘打機接続時： 0.1~0.8MPa
タンク内最高圧力	4.3MPa	
エ ア 取 出 口	スーパーネイラ専用エアチャック ワンタッチ式(2個)	スーパーネイラ、一般釘打機・エ ア工具兼用エアチャック ワンタッチ式(1個)
エ ア 取 入 口	エアプラグ44K	

4 エアコンプレッサとの接続方法

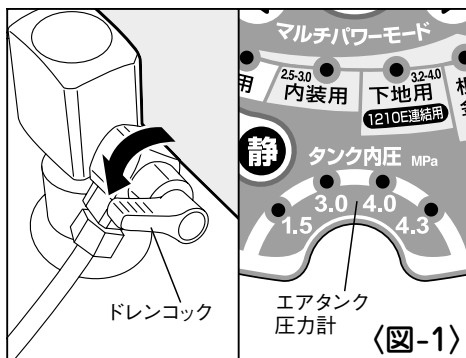
●本機はマックススーパーエア・コンプレッサと接続して、スーパーネイラまたは一般釘打機を使用することで最大限の効果を発揮します。他のエアコンプレッサとの接続はできません。

●専用エアコンプレッサの電源がOFFかどうか、又、本機内及び専用エアコンプレッサ内の圧縮空気が全て排出されているかどうか確認してください。

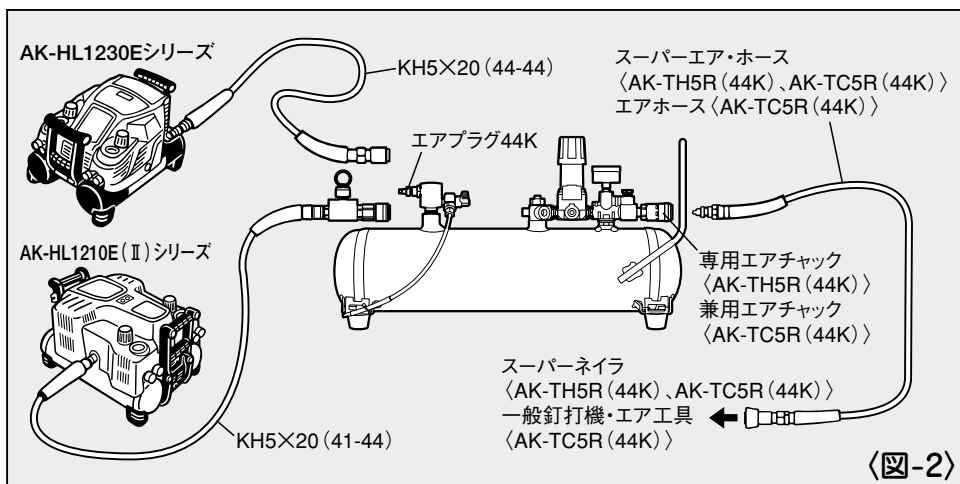
●本機内の圧縮空気排出状態はドレンコックの開放にて確認してください。確認後は“しめる”側にしてください。

⚠ 警告

●本機とエアコンプレッサの圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから接続する。 (図-1)



●下図のように、KH5×20 (44-44) (別売)、KH5×20 (41-44) (別売) を利用して、本機のエアプラグ44K側を専用エアコンプレッサと接続してください。 (図-2)



専用エアコンプレッサ1230Eシリーズの補助タンク接続口を使用する場合

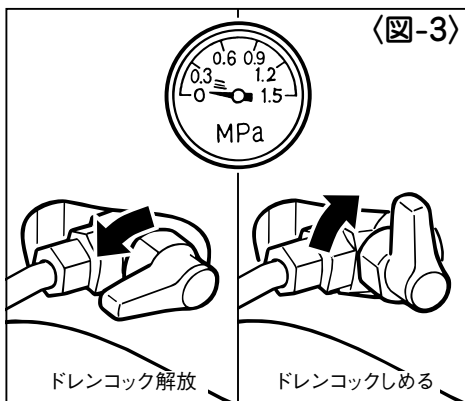
●接続に必要な部品…エアチャック44K、KH5×20 (44-44)

※AK-CH1230EXにはエアチャック44Kが予め装備されています。

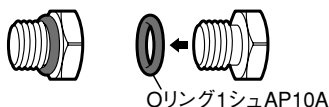
①連結する1230Eシリーズのドレンコックを解放し、タンク内に圧縮空气がないことを確認してください。確認後、“しめる”側にしてください。〈図-3〉

②1230Eシリーズの補助タンク接続口の止め栓をはずします。〈図-4〉

※この止め栓は逆ねじになっています。右回り（時計の針の回転方向）でゆるめ、左回りで締め込みます。

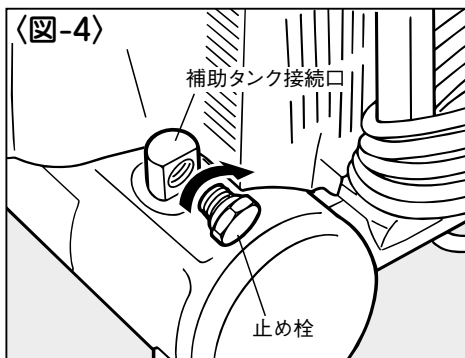


止め栓のOリング1シュAP10Aを外します。

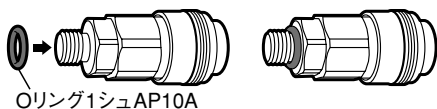


⚠ 警告

●エアタンク内の圧縮空气が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。

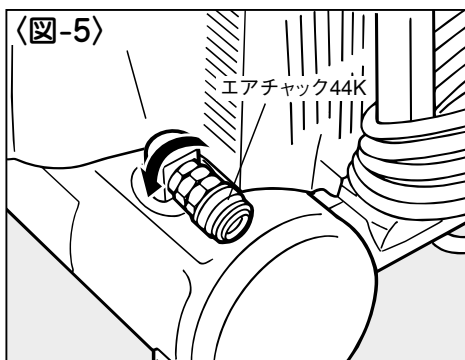


③エアチャック44KのOリング用溝にOリング1シュAP10Aをはめます。

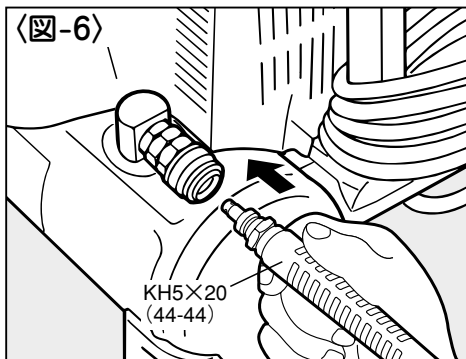


④エアチャック44Kを補助タンク接続口に取り付けます。〈図-5〉

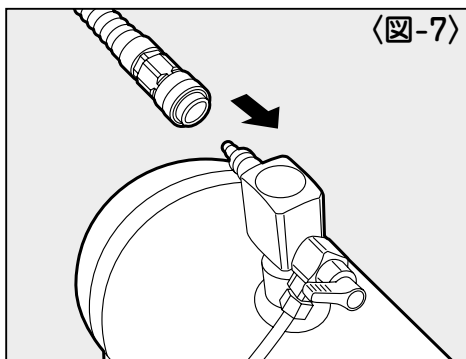
※左回りで締め込みます。



- ⑤ 本機内へ圧縮空気を供給するためのKH5×20 (44-44) (別売)の専用エアプラグを、取り付けたエアチャック44Kに接続します。 <図-6>



- ⑥ 接続したKH5×20 (44-44)の専用エアチャック側を、本機のエアプラグ44K (専用エア取り入れ口)に接続します。(マックス専用エアホースKH5×20 (44-44)以外は使用できません。) <図-7>



⚠ 警告

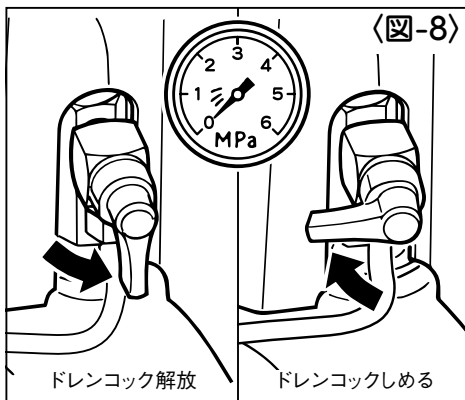
- エアチャック44K、KH5×20 (44-44) 以外は接続しない。

専用エアコンプレッサ1210E(Ⅱ)シリーズの補助タンク接続口を使用する場合

●接続に必要な部品…エアチャック4MPa、KH5×20 (41-44)

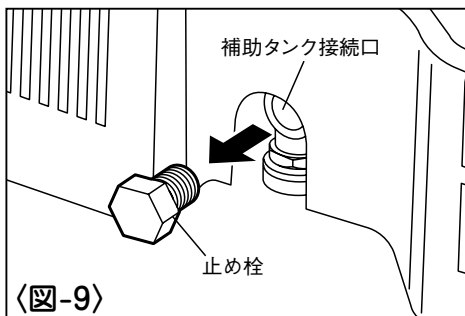
※AK-CH1210EX(Ⅱ)にはエアチャック4MPaが予め装備されています。

- ①連結する1210E(Ⅱ)シリーズのドレンコックを解放し、タンク内に圧縮空気がないことを確認してください。確認後、“しめる”側にしてください。〈図-8〉



- ②1210E(Ⅱ)シリーズの補助タンク接続口の止め栓をはずします。〈図-9〉

※この止め栓は逆ねじになっています。右回り(時計の針の回転方向)でゆるめ、左回りで締め込みます。



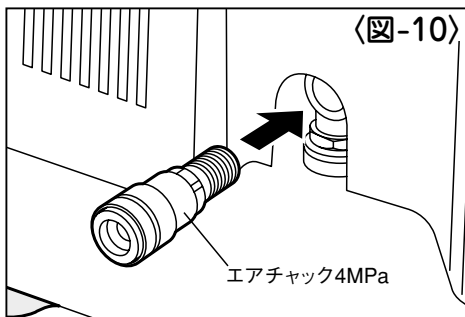
⚠ 警告

●エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。

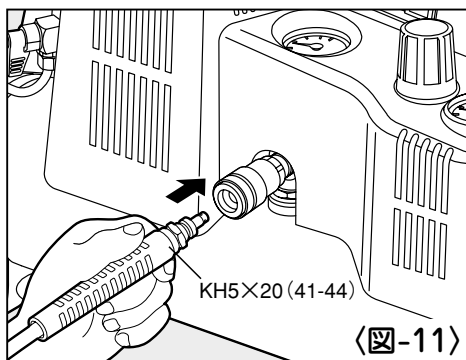
- ③エアチャック4MPaを補助タンク接続口に取り付けます。〈図-10〉

※左回りで締め込みます。

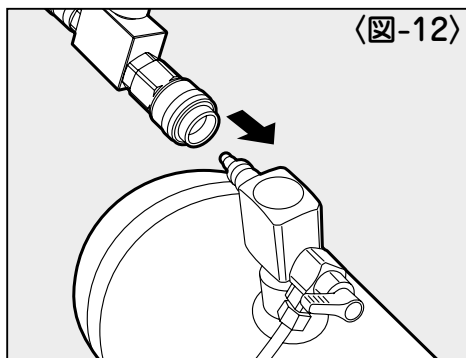
※エアチャック4MPaのねじ部にシールテープを巻きます。



- ④ 本機内へ圧縮空気を供給するためのKH5×20 (41-44) (別売)の専用エアプラグを、取り付けしたエアチャック4MPaに接続します。 <図-11>



- ⑤ 接続したKH5×20 (41-44)の専用エアチャック側を、本機のエアプラグMPa (専用エア取り入れ口)に接続します。(マックス専用エアホースKH5×20 (41-44)以外は使用できません。) <図-12>



⚠ 警告

- エアチャック4MPa、KH5×20 (41-44) 以外は接続しない。

5 使用方法

運転前の点検・確認

⚠ 警告

- 使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。

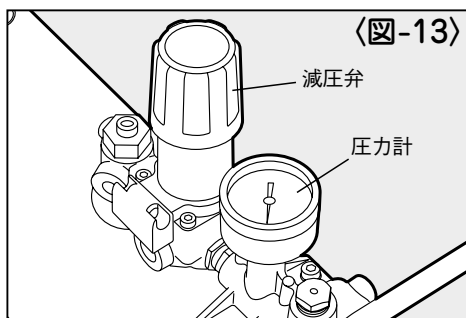
※3ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。

- ①接続が完了しましたら、エアコンプレッサの電源スイッチを入れて（ONにして）、本機タンク内に圧縮空気を充填してください。

⚠ 警告

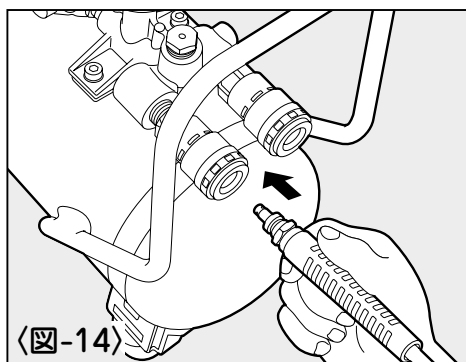
- エア漏れが発生したら使用しない。

- ②エア工具の使用圧に合わせて本機の減圧弁を調整してください。 〈図-13〉



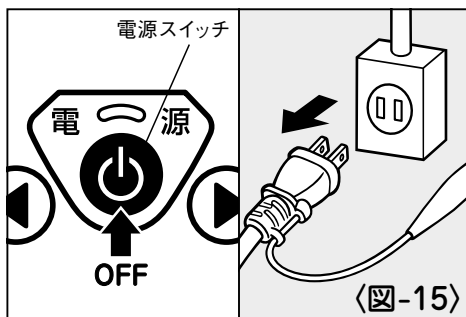
- ③AK-TH5R (44K)、AK-TC5R (44K) は専用エアチャック（専用エア取出口）に専用エアホースを接続し、スーパーネイラを使用してください。

AK-TC5R (44K) は兼用エアチャック（一般釘打機・エア工具用エア取出口）にエアホースを接続し、一般釘打機・エア工具も使用できます。



〈図-14〉

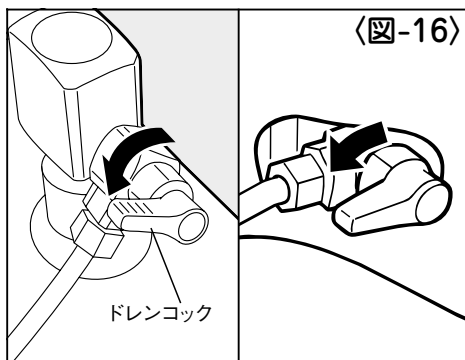
- ④作業が終わりましたら、エアコンプレッサの電源スイッチを切り（OFFにして）、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。 〈図-15〉



〈図-15〉

- ⑤本機と専用エアコンプレッサのドレンコックを開放し、タンク内の空気とドレン（水など）を完全に抜きます。〈図-16〉

- ⑥本機と専用エアコンプレッサを接続している専用エアホース（KH5×20（44-44）、KH5×20（41-44））を取りはずします。



⚠ 警告

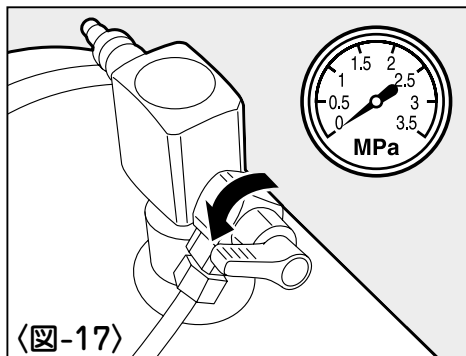
- エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから専用エアホース（KH5×20（44-44）、KH5×20（41-44））をはずす。

6 性能を維持するために

① 本機のドレン抜き（水抜き）をする。

作業終了時はドレンコックを開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を減圧弁の圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。〈図-17〉

※ドレン抜き（水抜き）を行わないとエアタンク内に錆が発生し、故障の原因となります。

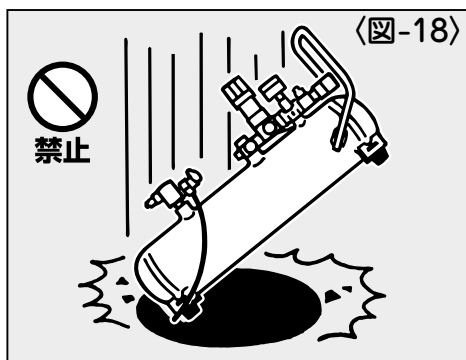


② 定期的に点検する。

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)にお申しつけください。

③ 本機を大切に扱う。

落としたり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶついたり、叩いたりしないでください。〈図-18〉



④ 使用毎に必ず点検する。

3ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行ってください。

7

保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、ご購入求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

— MEMO —

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.

— MEMO —

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6 TEL (03) 3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8118(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘 2-3-27	TEL (029) 255-3761(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築瀬町 2313	TEL (028) 636-3012(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町 233-5	TEL (027) 210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀 8155	TEL (0263) 26-4377(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴 297-12	TEL (04) 7132-1500(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日 1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8531(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東 2-22-15	TEL (053) 439-3300(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6444-2035(代)
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町 9	TEL (075) 645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町 6-2-4	TEL (078) 367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3-24	TEL (099) 269-5347(代)

販売関係会社

新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館 2-14-28	TEL (0256) 34-2112(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7-6	TEL (045) 364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町 5-17-19	TEL (042) 528-3051(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地 1-3-26	TEL (054) 237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL (076) 240-1873(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割 10-8	TEL (076) 452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東 2-1711	TEL (0776) 27-3378(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田 3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL (087) 866-5599(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山 2-1-35	TEL (089) 913-0608(代)

マックスサービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町 412	TEL (027) 350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町 3-421	TEL (048) 667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8210(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) **0120-228-358**
月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。